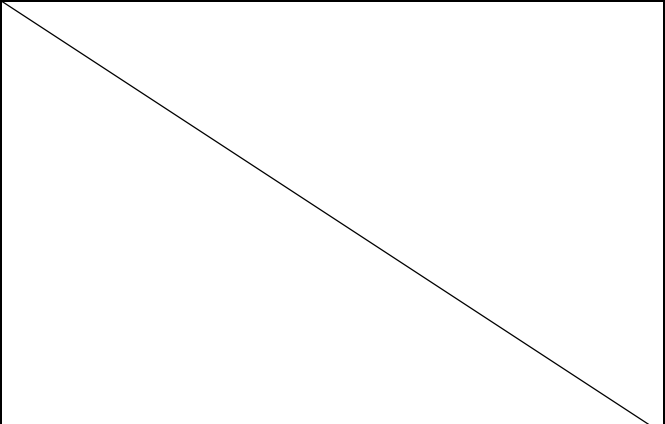


◎学ぶ楽しさわかる、9年間の系統を踏まえた授業改善の推進		
教科等指導の重点	小野連携型小中一貫校研修主題  <b>「学びをもとに、主体的に判断・表現できる子供の育成」</b>	
	小野の教科等指導の重点 各教科等における、小中9年間でつきたい力（文末表現は〜〜〜できる）  <b>「各教科における目指す子供の姿」</b> 主題に対する手立て① 授業スタンダードと9年間のつながりを踏まえた授業展開の工夫 主題に対する手立て② 子供が主体的に取り組む授業の工夫	
	小学校 <span style="margin-left: 150px;">中学校</span>	
国語	小野の国語 言語活動を通して、言葉による見方・考え方を働かせ、主体的に自分の意見や考えを伝え合うことができる。	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <b>「既習事項と比較したり結びつけたりしながら考え、主体的に自分の思いや考えを伝え合うことができる児童」</b>                      ① 既習事項と関連させながら言葉による見方・考え方を養い、自分の思いや考えを深めるための授業展開を工夫する。（「学びのつながりブック」の活用など）。                      ② 伝え合いでの活動を通して、互いの考えを共有し、自分の考えを深めたり広げたりする。                 </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <b>「言語活動を通して、言葉により論理的に考え、主体的に自分の思いや考えを伝え合うことができる生徒」</b>                      ① 既習事項と関連させながら、言葉による見方・考え方を養い、自分の言葉で豊かに表現できるようにする（「学びのつながりブック」の活用）。                      ② 伝え合う活動を通して、互いの考えを共有し、自分の考えを深めたり、よりよい考えを練り上げたりする。                 </td> </tr> </table>	<b>「既習事項と比較したり結びつけたりしながら考え、主体的に自分の思いや考えを伝え合うことができる児童」</b> ① 既習事項と関連させながら言葉による見方・考え方を養い、自分の思いや考えを深めるための授業展開を工夫する。（「学びのつながりブック」の活用など）。 ② 伝え合いでの活動を通して、互いの考えを共有し、自分の考えを深めたり広げたりする。
<b>「既習事項と比較したり結びつけたりしながら考え、主体的に自分の思いや考えを伝え合うことができる児童」</b> ① 既習事項と関連させながら言葉による見方・考え方を養い、自分の思いや考えを深めるための授業展開を工夫する。（「学びのつながりブック」の活用など）。 ② 伝え合いでの活動を通して、互いの考えを共有し、自分の考えを深めたり広げたりする。	<b>「言語活動を通して、言葉により論理的に考え、主体的に自分の思いや考えを伝え合うことができる生徒」</b> ① 既習事項と関連させながら、言葉による見方・考え方を養い、自分の言葉で豊かに表現できるようにする（「学びのつながりブック」の活用）。 ② 伝え合う活動を通して、互いの考えを共有し、自分の考えを深めたり、よりよい考えを練り上げたりする。	
社会	小野の社会 基礎学力（知識・理解）を身につけ、自分の考えをわかりやすく伝えることができる。	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <b>「写真、グラフ、図などをからちがいや変わったところを読み取れる児童」</b>                      ① 写真、グラフ、図の読み取れる力を身につけるための教材の工夫や場の設定を行う。                      ② 資料から読み取れたことを意見交流する場を設定する。                 </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <b>「写真、グラフ、図などを用いて、比較や変化を読み取れることができる生徒」</b>                      ① 資料（写真、図、グラフ）から着目すべき点を見だし、違いや変化に気づけるようにする。                      ② 考えや意見を共有する全体の中で意見を発表する場を設ける。                 </td> </tr> </table>	<b>「写真、グラフ、図などをからちがいや変わったところを読み取れる児童」</b> ① 写真、グラフ、図の読み取れる力を身につけるための教材の工夫や場の設定を行う。 ② 資料から読み取れたことを意見交流する場を設定する。
<b>「写真、グラフ、図などをからちがいや変わったところを読み取れる児童」</b> ① 写真、グラフ、図の読み取れる力を身につけるための教材の工夫や場の設定を行う。 ② 資料から読み取れたことを意見交流する場を設定する。	<b>「写真、グラフ、図などを用いて、比較や変化を読み取れることができる生徒」</b> ① 資料（写真、図、グラフ）から着目すべき点を見だし、違いや変化に気づけるようにする。 ② 考えや意見を共有する全体の中で意見を発表する場を設ける。	

算数・数学	<p><b>小野の算数・数学</b> わかったことや考えたことを式、図、表、グラフ、数学用語などを用いてわかりやすく説明できる。</p> <p>「既習事項と比較したり結びつけたりしながら考え、算数的な表現を用いて分かりやすく説明することができる児童」</p> <p>① 導入時に、既習学習と本時の学習のつながりを意識したり、確認したりすることで、解決の見通しがもてるようにする。まとめの後、適用問題に取り組むなどの振り返りを取り入れ、学びを確かなものにする。</p> <p>② 算数用語や図・式・具体物などを適切に用いて、自分の考えを分かりやすく伝え合うことができるようにする。</p>	<p>「既習事項と関連づけたり、探求したりして、数学的な表現を用いて、自分の考えを伝えることができる生徒」</p> <p>① 前時の宿題や豆テストなどで定着を図り、本時の内容とのつながりを意識させ、疑問を持って課題に取り組めるようにさせる。課題を発展的にとらえ、新たな課題を見いだす活動を行う。話し合い活動を通して、じっくり思考し考えをまとめ交流し、振り返られる単元を計画的に設定する。</p> <p>② 図、表、グラフ、数学用語などを用いて、相手が理解しやすいように工夫して説明ができるようにする。</p>
理科	<p><b>小野の理科</b> わかったことや考えられることを図、表、グラフ、理科学用語などを用いて分かりやすく説明できる。</p> <p>「生活経験や学んだことをもとに考え、自分の考えをわかりやすく説明できる児童」</p> <p>① 問題を明確にし、学習に関わる既習事項や他教科のつながりのある学習内容を提示し根拠のある予想が行えるよう支援を行う。問題解決のための発達段階に応じた思考スキルを身に付けさせる指導の工夫を行う。</p> <p>② 一人一実験を基本に少人数実験を実施し、児童一人一人が主体的に結果から考えられる授業の実施。</p>	<p>「わかったことや考えられることを図、表、グラフ、理科学用語などを用いてわかりやすく説明できる生徒」</p> <p>① めあての設定や予想の根拠に既習事項を用い、生徒に学びのつながりを意識させる授業づくり。予想や結果から考えられることを整理し、わかりやすく説明させる指導の工夫と場の設定。</p> <p>② 見通しを持たせる発問や習熟度別のつなぎ教材を用意し、自力解決に導く手だての工夫。一人一実験を基本にした少人数実験の実施。</p>
生活	<p>「身近な人々、社会及び自然をじぶんとに関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考えたことを表現することができる児童」</p> <p>① 活動を通じて気づいたことや感じたことを表現する方法を工夫する。</p> <p>② ボランティアの活用により、子どもが見通しをもって活動できるようにする。</p>	

外国語活動・英語	<p><b>小野の外国語活動・英語</b> 場面に応じて、相手の話す英語を聞き取り、自分の考えを分かりやすく伝えることができる。</p> <p>「学習した表現を使って自分の考えを書いたり、相手を意識して分かりやすく伝え合ったりすることができる児童」</p> <p>① コミュニケーションポイントを用いて、積極的にやりとりを行ったり、自分の思いや考えを伝え合おうしたりする活動を行う。また、自信を持たせる支援の工夫として、教師の英語でのデモンストレーションを分かりやすく示し、学習の見通しを持たせる。</p> <p>② 学習した表現を使って、積極的に自分の思いや考えを書いたり読んだりして伝え合える場面を多く設定する。</p>	<p>「相手の話す英語を汲み取り、身に付けた語彙や文を適切に用いて、自分の思いや考えを英語で伝えることができる生徒」</p> <p>① 既習表現を使って表現する「試しの活動」を行うことで単元のつながりを分かりやすくするとともに、単元で学ぶことを明確にし、学習の見通しを持たせる。また、活動に一貫性を持たせることで説明・指示の時間を最短化し、まとめと振り返りの時間を確保し、充実させる。</p> <p>② ペアやグループで伝え合う言語活動を中心に、互いのよさに気づき、交流する場面を多く設定する。また、交流した経験を全体で語る機会を設けることで伝える喜びを実感させる。</p>
音楽	<p><b>小野の音楽</b></p> <p>イメージしたことを基に、表現を高めたり、鑑賞を深めたりすることができる。</p> <p>「既習内容をもとに、友だちと試行しながら表現を高めたり深く聴いたりすることができる児童」</p> <p>① 学びのつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 読譜（音階・階名）</li> <li>○ 楽語・記号（共通事項を生かして）</li> </ul> <p>常時活動（リズム遊び等、本時のねらいに即したもの）</p> <p>② ツールを使って思いや意図を交流し、録音を聴くことを通して、効率的に試行を繰り返し、自分たちの表現を振り返れるようにする。</p>	<p>「音楽の要素や楽語、歌詞を生かして音楽活動することができる生徒」</p> <p>① 学びのつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 読譜（音階・階名）</li> <li>○ 楽語・記号（共通事項を生かして）</li> </ul> <p>常時活動（発声・音程）</p> <p>② 学習プリントを使って明らかになった課題や表現の工夫のポイントを生かして、パート練習など生徒主体の活動に生かすようにする。</p>
図画工作・美術	<p><b>小野の図画工作・美術</b></p> <p>自分の思いをみつけ、材料や表現方法（色彩や形）を工夫して自分らしい表現ができる。</p> <p>「つくりたいものを見付け、自己表現ができる児童」</p> <p>① 表現力を高めるため、学年間のつながりと段階を踏まえ、材料の与え方と試しの場や道具の扱い方、技術を習得できるようにする。</p> <p>② 作品を通して話し合いで楽しさを共有し、見方を深め合いながら鑑賞できる場を設定する。</p>	<p>「主題を見つけ、材料・用具、表現方法を工夫することができる生徒」</p> <p>① 自分らしい表現を追求するために、これまでの経験をふまえ、材料・用具と主体的に関わる試しの場を設定する。</p> <p>② 制作途中や鑑賞の時間に語り合う場を設定し、制作の意図をことばにしたり、作品のよさを自分の価値で味わえるようにしたりする。</p>

家庭科・技術家庭科	<p><b>小野の家庭科・技術家庭科</b> 家庭や地域の一員として生活の自立を目指し、生活をより良くしようとする力を身に付けることができる。</p>	<p><b>「体験を通じた気付きや考えをもとに考えを深め、自分たちの生活をよりよくしようとすることができる児童」</b></p> <p>① 生活の中から問題を見だし、学習と自分の生活をつなげて考えていけるように実践的・体験的な活動の場を設定する。振り返りとして家庭や地域でもう一度取り組む機会を積極的に取り入れる。</p> <p>② ペアやグループ活動、ボランティアの活用を取り入れるなど、多くの人と交流しながら学べる場を設定する。</p>	<p><b>「実習で取り組んだことを実生活でもいかすことができる生徒」</b></p> <p>① 一人ひとりが知識を深く理解し、技能を習得できるように実践的・体験的な学習活動を取り入れる。学習したことを生活で活かせるように、家庭や地域でもう一度取り組むような課題を積極的に取り入れる。</p> <p>② 三年間通して学んだことを断面的ではなく、継続的に見ることができるよう、実習などに取り組む際には、前年度にやったことに触れる時間を設ける。</p>
	体育・保健体育	<p><b>小野の体育・保健体育</b> 身体を動かす楽しさを味わい、コミュニケーションを取りながら、技能を高めることができる。</p>	<p><b>「身体を動かす楽しさを知り、工夫しながら技能を高めることができる児童」</b></p> <p>① ワークシートの活用や話し合い活動などを通して、自己の課題を理解し、課題解決のための手立てを考え、学習活動に取り組めるようにする。</p> <p>② 話し合い活動や ICT 機器を活用し、自己の課題を意識させる場を設ける。</p>
		<p><b>小野の道徳</b> 道徳的価値について、物事をいろいろな見方で捉え、自分の考えをもつことができる。</p>	<p><b>「物事を自分との関わりや様々な視点で考えることができる児童」</b></p> <p>① めあてとなる内容項目を明確にし、日常生活と内容項目を結びつけ、自分ごととして考えることができる授業展開の工夫。</p> <p>② 体験的な活動を取り入れることで、学習課題を自分ごととして捉え、さらに発問を工夫したり話し合い活動を取り入れたることで、多様な意見に触れることができる授業展開の工夫。</p>

特別活動	<b>小野の特別活動</b> 自分たちの課題を、自発的・自治的に解決できる。	
総合的な学習	<b>「生活上の課題に見付き、自ら進んで解決することができる児童」</b> ① 学級では計画委員会を、また、学校では代表委員会を組織して、学校生活をよりよくしようとする話し合いの場を設定する。 ② 課題解決に向けた活動内容を考え、児童が自ら進んで実践できるように指導の工夫をする。	<b>「生活上の課題を見いだして、主体的に解決することができる生徒」</b> ① 小学校での計画委員会の経験を基に、輪番制による計画委員会や、行事等で実行委員会を組織し、生徒主体のより良い学校生活に向けた話し合い活動の場を設定する。 ② 組織の活動計画を立てさせ仕事内容を考え、見通しを持って実践させる指導の工夫をする。
生徒指導	<b>小野の総合的な学習</b> 課題を見付け、主体的に解決することのできる学び方を身につけ、自分のあるべき姿と生活を追求できる。	
生徒指導	<b>「情報を活用し、友達と協力しながら課題解決をしようすることができる児童」</b> ① 情報を整理分析する様々な方法を学び、自分の考えを表現する機会を設ける。 ② 思考ツールを用いて情報を取捨選択したり、整理分析したりできる場を設ける。	<b>「他者と協同して課題を解決しようとする生徒」</b> ① 情報を収集し、整理したり分析したりする方法を身に付け、課題解決に取り組む場を設定する。 ② 自分の考えを深め、他者に分かりやすく伝えたり意見を交換したりする、交流活動の場を設定する。
	<b>小野の生徒指導</b> <b>子どものよさを認め、ほめ、伸ばす「やる気」の生徒指導</b>	
	(1) 児童のよさを認め、ほめ、伸ばす受容と共感に基づく指導のもと、教師と児童、児童相互の信頼関係を深めていける場を多く設定する。 (2) 多面的できめ細かい児童理解に基づき、3つの機能（自己決定、自己存在感、共感的人間関係）を生かした授業中の積極的な生徒指導を行っていく。 (3) 9年間の発達段階に応じた、つながりを考慮した生徒指導方針を全職員で共通理解し、一致団結した共通行動をとる。 (4) 問題行動については、未然防止、早期発見を心がけ、変化に気付いたときには、迅速に組織的、継続的な指導を行う。 (5) 教師と保護者の信頼関係を築くために、情報を積極的に発信したり、相互に意見を交換する機会を多く設けたりして、安心して任せられる学校・学級づくりを行う。	(1) 生徒のよさを認め、ほめ、伸ばすことで、教師と生徒及び生徒相互の人間関係を育て、生徒一人一人が自主的に判断し、行動し、積極的に自己を生かすことのできる場を多く設定するとともに、自己のよさを認め尊重し合う場面を多く取り入れる。 (2) 9年間のつながりを意識し、3つの機能（自己決定、自己存在感、共感的人間関係）を生かした、「やる気」の生徒指導の授業を実施していく。 (3) 生徒指導方針を全職員で共通理解し、情報の共有化を図る。 (4) 「みそあじ運動」の徹底から、日常生活のリズムや身なりを整え、生活の中での立ち居振る舞いをしっかりとさせる。 (5) 不登校生徒への適切な支援及び不登校傾向を持つ生徒の早期発見・指導を学年を中心として相談部と連携しながら組織的に行う。